



Title	ごあいさつ
Author(s)	川勝, 傳
Citation	癌と人. 1983, 10, p. 1-2
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/24116">https://hdl.handle.net/11094/24116</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## ご あ い さ つ

理事長 川 勝 傳\*

皆さまには、益々ご清祥のこととおよろこび申し上げます。

平素は、財団法人「大阪癌研究会」に対しまして格段のご協力をたまわり厚くお礼申し上げます。

ガンによる国民の死亡は少しも衰えず、ついにガンによる死亡が国民死亡率の第1位をしめるに至りました。また、ガン死の内容も大きく変わりつつあります。すなわち、幸いにも子宮ガンによる死亡は急激に減少し、胃ガンもまた少しづつ減ってきております。しかし肺ガンによる死亡は急増し、乳ガン、大腸ガンもじりじりと増えてきております。そのような状態で、一方では、その発生が減りつつあるにもかかわらず、他方では増えつつあるという複雑な様相を示しているのであります。

ガンの早期発見、治療の進歩にも著しいものがありますが、幾多の隘路もありまして、関係各位の努力にもかかわらず、ガン死の恐怖は、依然として我々国民の上に大きくのしかかっております。したがって、ガン征圧は、いまや国民の悲願であると申さねばなりません。

財団法人「大阪癌研究会」が、ガン撲滅のための事業目標をかかげて、ガン研究機関への学術研究助成、ガンの検診普及活動に地道に努力をつづけておりますのも、こうした見地に立っております。

ガンの早期発見、早期治療が唯一の予防手段であります現在、財団法人「大阪癌研究会」としては、その社会的使命を全ういたしたく、乳ガン、胃ガン、直腸ガンなどの集団検診の普及活動を積極的に展開して参りました。乳ガンの集団検診の受診者数は年々増加の一端をたどっており、いまや大阪府下各市町村、自治体との協力態勢によって、吹田、箕面、大東、松原、豊中、池田、藤井寺、摂津、羽曳野、茨木及び河南の各市町は大きく検診の環がひろがりつつあり、その成果は着々とあがっております。また、便潜血反応検査による大腸ガンを主とする消化管ガンの集団検診も併行して行われ、さらに財団法人「大阪対ガン協会」との共催によって大きく拡がりつつあります。

このように本研究会の目的が遂行できますのも、大阪大学微生物病研究所附属病院外科放射線科の研究と実践行動のたまものでありますが、この活動を深く理解していただいて、多大なご協力、ご支援をたまわっております、大阪府下市町村自治体、大阪商工会議所、神戸商工会議所、吹田母子会、財団法人「大阪対ガン協会」に対しまして厚く感謝の意を

---

\* 南海電気鉄道株式会社代表取締役社長

表したいと存じます。

このようにして、関係方面の方々のご支援によって、本研究会の検診活動は益々忙しくなっておりまゐりました。それにともなつて本研究会としては、大阪市生野区巽北3-20-29に大阪事務所を57年5月13日より開設いたし、検診業務の円滑化をはかることに致しました。

大阪事務所は本研究会理事の大阪大学名誉教授芝茂先生が院長をしておられるガン専門病院である医療法人育和会記念病院の一角を借用したもので、大阪市内はもちろん、大阪府下の東部、河内地区や泉南地区の住区の方々の検診には好都合かと考えております。

同病院には、ガン専門病院として、最新の検診、治療設備が整えられ、大阪大学、兵庫医大、神戸大学から強力なスタッフが派遣されて診療にあたられているのであります。

したがつて、本研究会の乳ガン、大腸ガン等の一次検診後の精密検診については、大阪大学微生物病研究所附属病院同様に、育和会記念病院においても、同様に行なつていただけることになっておりますので、地域性を考えますと受診される方々には大変便利となるものと確信致しております。

このように、本研究会としては、財団法人大阪対ガン協会、大阪商工会議所あるいは大阪府下市町村自治体のご支援によつて検診活動の環をひろげて、一大国民運動と致したい所存であります。その精密検診の重要性、さらに早期治療の重大性にかんがみ、大阪大学微生物病研究所附属病院ならびに育和会記念病院の絶大なご協力を心からお願い申し上げる次第であります。

1980年代は激動の時代といわれております。政治・経済・社会各面にわたつて、きわめてきびしい年であると存じます。

それだけに、国民の健康がなによりも大切であります。

ガン征圧を通じて、本研究会の活動も一層重要な役割を持つものであることを自覚し、今後ますます努力を重ねてまいる所存でございますので、皆さまの強力なご協力、ご支援を切にお願い申し上げます。